



Beyond KUSS , 2025 !!



第2回進路希望調査集計結果

4月当初に続き、共通テスト模試受験に際し、第2回進路希望調査を実施しました。前回の調査後、担任との面談でいろいろなアドバイスを受けたと思います。また、担任以外の先生方とも面談している人もいます。いろいろなアドバイスを受け、みなさんがどのように考えているかを表明する機会が第2回進路希望調査です。

省略

上表真ん中が今回の第2回進路希望調査、左が4月の第1回進路希望調査、右が10回生同時期の集計結果になります。

第1回と比較した場合、神戸4名減が大きな変化です。神戸からの変更先はすべて大阪です。大学単位で確認すると12名が変更しており、神戸⇒大阪：4名、大阪⇒千葉・京都・広島：4名、東京⇒北海道：1名、和歌県医⇒神戸薬科：1名、同志社⇒奈良女子：1名、関西学院⇒三重：1名です。学部単位で確認すると14名が変更しており、工⇒基礎工・システム情報・農・理：4名、理一⇒理二・医：3名、文⇒国際人間：1名、経済⇒人文：1名、経営⇒国際人間：1名、商⇒社会：1名、理⇒農：1名、理工⇒工：1名、農⇒教育：1名です。

10回生と比較しても、神戸・東京・京都・大阪が上位4大学、医学科志望に占める女子率が高い点は同傾向です。公立・私立・大学校希望者が多い点が11回生の特徴です。

本校のこれまでの傾向は、東京・京都希望者は「志望力」が高く、最終的に出願することが多く、神戸・大阪を中心にそれ以外の希望者は揺らぐ傾向にあります。目標が揺らぐと学習の軸を見失うことがあります。11回生の「志望力」「出願力」はどのようなのでしょうか。

共通テスト模試から中間考査へ

先週は共通テスト模試の1週間でした。今週は中間考査前ですが、大雨警報が発表されて、少しペースが乱れた人もいないでしょうか。部活動関係で受験が終了していない人もいます。中間考査終了後に自己採点集計結果をお知らせしたいと思います。

先日の共通テスト模試、来週からの中間考査、いずれも、自らの現在の課題を見つける機会として利用しましょう。これからの学習は、課題を克服するために計画することが大切です。漠然と学習に取り組んでも効果は期待できません。課題を認識できない人は、目標設定が困難であり、学習計画も雑駁になります。その状態では、費用と時間をかけても成果を出すことができません。模試、定期考査、小テスト、授業、様々な場面から課題をしっかりと認識しましょう。自己理解が、実力向上への第一歩です。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2025 !』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。